

児童相談システム再構築・運用保守業務

落札者決定基準

令和6年7月

1 本書の位置づけ

児童相談システム再構築・運用保守業務 落札者決定基準（以下「落札者決定基準」という。）は、神戸市（以下「市」という。）が、児童相談システム再構築・運用保守業務（以下「本業務」という。）を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）の募集及び選定を行うにあたって、入札参加者へ公表する入札説明書と一体のものである。

落札者決定基準は、落札者を決定するにあたって、最も優れた提案を行った入札参加者（以下「最優秀提案者」という。）を選定するための手順、方法及び評価項目等を示し、入札参加者の行う提案に具体的な指針を与えるものである。

2 事業者選定の概要

（1）選定方式

本業務を実施する事業者には、児童虐待対応業務や母子保健事業に関する知識を有し、確実な虐待ケースの管理、よりレベルの高い子育て支援の拡充・質の向上を実現できるようなシステムの構築・提供を求めるものであり、事業者の専門的な技術的能力及び総合力が必要となる。

従って、事業者の募集及び選定を行うにあたっては、入札価格とともに、事業者の技術やノウハウ等を総合的に評価し落札者を決定する、総合評価落札方式による一般競争入札を採用する。

（2）選定方法

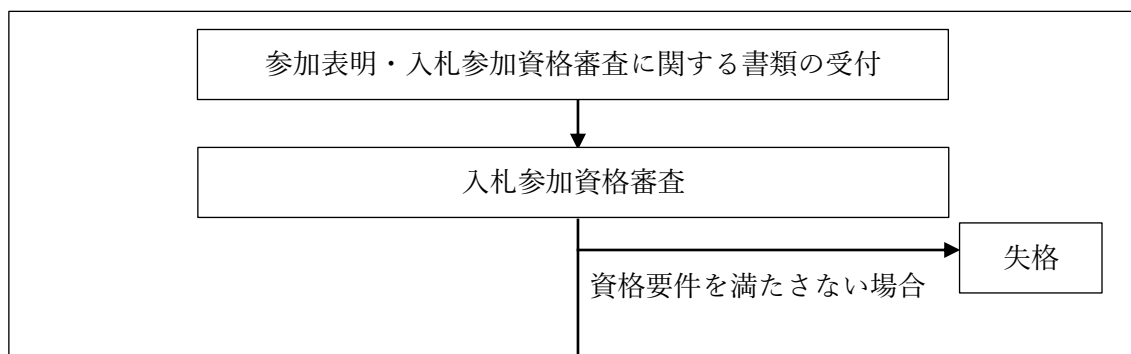
本業務の選定は、二段階の審査により実施し、第一次審査として入札参加資格審査、第二次審査として提案内容審査（事業者の能力及び提案の評価）を行う。

なお、入札参加資格審査は、提案内容審査の対象となる入札参加者を選定するためにのみ行うこととし、入札参加資格審査の内容については、これを提案内容審査に持ち越さないものとする。

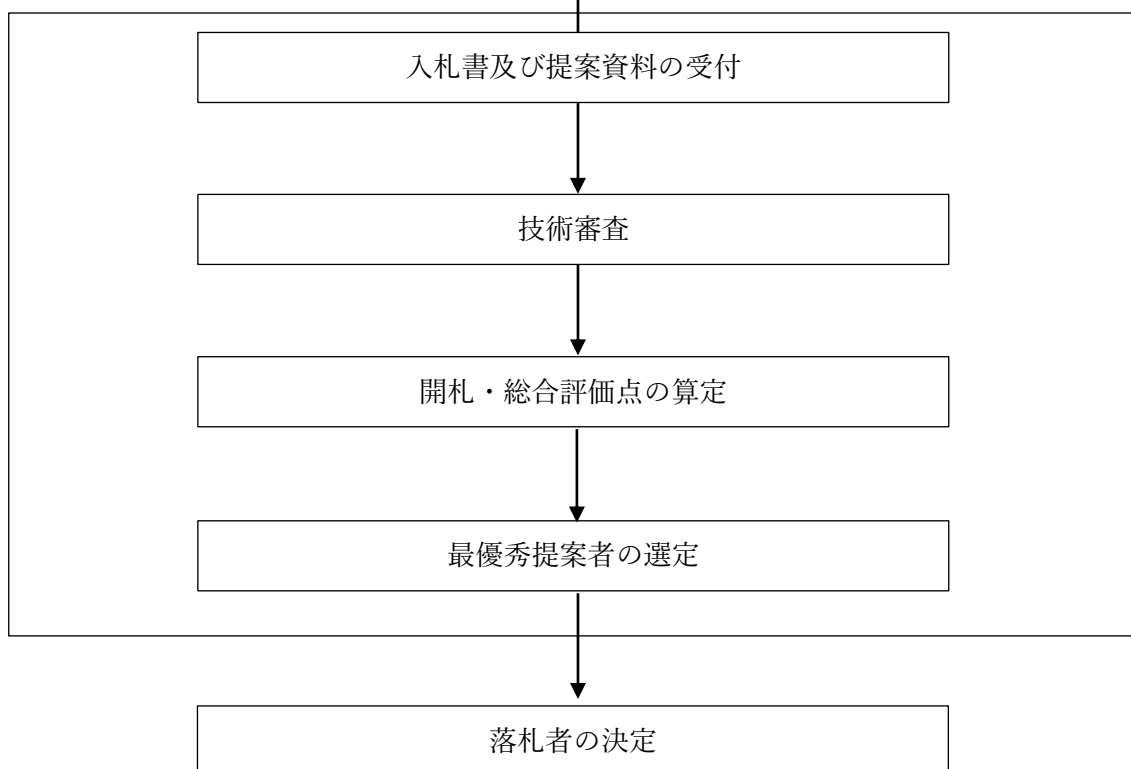
(3) 選定の流れ

選定手順は、次のとおりとする。

(1) 入札参加資格審査（第一次審査）



(2) 提案内容審査（第二次審査）



3 審査

(1) 入札参加資格審査（第一次審査）

入札参加者の備えるべき入札参加者の資格要件（入札説明書で規定する要件）を満たしているかどうかの審査を行う。当該要件を満たしていない場合は失格とする。

なお、提出された書類に疑義がある場合は、入札参加者に対して内容の確認及び追加資料の提出等を求める場合がある。

（２）提案内容審査（第二次審査）

入札参加者から提出された入札書及び提案資料、プレゼンテーションの内容について審査を行う。なお、入札参加者から提出された提案資料に疑義がある場合は、入札参加者に対して内容の確認及び追加資料の提出等を求める場合があるほか、入札参加者に対して個別のヒアリングを行って確認する場合がある。また、入札参加者への確認結果及びヒアリングにおける回答内容等は、審査書類における記載内容と同様の扱いとし、本業務の契約上の拘束力を有するものとして扱う。

①技術審査

入札参加者が提出した提案資料の内容について、加算項目として審査を行う。

加算項目は性能を評価した得点（以下「性能点」という。）として、配点 750 点（提案書 440 点、機能要件対応表 310 点）として、次に示す基準に従い得点化する。

なお、審査は、5 名以上の市職員によって構成される評価委員会を設置して行うものとする。

◆提案書の評価（440 点）

（i）評価項目

項番	評価項目（大項目）	配点
1	調達範囲及び指針	60 点
2	機能要件（機能要件対応表を除く）	90 点
3	非機能要件	150 点
4	業務委託要件	140 点

項目の詳細及び提案書に記載すべき内容は、「提案書等記載要領」を参照すること。

（ii）「提案書等記載要領」の項目ごとに、以下の基礎配点に加重点（非公開）をかけて算出し得点化する。

段階	評価項目	基礎配点
A	提案内容が要件をみたしており、現実的かつ効果的、理想的な評価に値する要素がある場合	5
B	提案内容が要件を満たしている。	3
C	提案内容が要件を一部満たしている。	1
不可	提案内容が要件を満たしていない又は記載がない	0

◆機能要件対応表の評価（310 点）

入札参加者から提出された、機能要件対応表について機能要件単位の「対応可否」及び「対応方法・根拠」を評価し審査する。なお、「重要性 A（必須）」とする要件が「×（実現不可）」となっている場合は、本市が求める水準の要求を満たさないものとして失格とする。また、入札参加者が記載した段階の判断に疑義がある場合には、入札参加者に対して内容の確認を行い、回答の結果によって段階を変更できるものとする。

段階	評価項目	基準配点
◎、☆	パッケージ標準又はパッケージとして無償対応（稼働日までの予定を含む）	5
○	代替案（EUC を含む）又は運用回避対応	3, 1 又は 0
△	カスタマイズで対応	3
▲	条件付き又は一部実現可	1
×	対応しない。対応できない。未記載。	0

③プレゼンテーションについて

下記の内容についてプレゼンテーションを実施すること。

項番	評価項目
1	システム概要 ・システムの概要について説明すること。
2	各区こども家庭支援室（家庭児童相談）における業務概要 ・各区こども家庭支援室における通告受理後のシステムへの登録、その後の会議、終結までの一連の流れについて説明すること。
3	児童相談所における業務概要 ・児童相談所における通告受理後のシステムへの登録、終結までの一連の流れについて説明すること。 ・一時保護業務を行うために必要な情報の登録等の一連の流れについて説明すること。 ・里親管理を行うために必要な情報の登録等の一連の流れについて説明すること。
4	その他 ・要求された仕様にはないが、本市職員の事務負担軽減の視点で有用と考える機能（運用・カスタマイズ）があれば説明すること

（i）留意事項

プレゼンテーションにあたっては以下の点に留意すること。

①デモ機を用いて各システムの操作及び説明を行うこと。

- ②今後カスタマイズ又は開発予定の機能は、別途資料などで説明し補足すること。
- ③提案事業者のパッケージシステムを基本に、基幹システム標準化後について説明すること。

④入札価格の得点化方法

次に示す方法により、価格を評価した得点（以下「価格点」という。）を積算する。

$$\text{価格点} = 250 \times (1 - \alpha)$$

$$\text{※ } \alpha = (\text{入札金額}) \div (\text{上限金額})$$

・小数点以下は四捨五入する。

なお、本調達にかかる上限金額は次の通り（消費税及び地方消費税相当額を除く）。

システム構築費（R6～7年度）	53,900 千円
保守・運用費（R7～R11）	14,250 千円
上限金額（総額）	68,150 千円

※入札金額が上限金額を超過している場合は失格とする。

⑤総合評価

評価委員会は、算定した性能点と価格点の合計（総合評価点）が最も高い提案を最優秀提案として選定する。

$$\text{総合評価点} = \text{性能点（750点満点）} + \text{価格点（250点満点）}$$

4 落札者の決定

（１）落札者の決定

市は、審査の結果選定された最優秀提案者を落札者として決定する。ただし、最優秀提案者が複数いるとき（総合評価点が同点のとき）は、性能点が最も高い者を落札者とする。なお、性能点も同点の場合は、機能要件対応表の配点の合計が高い者を落札者とし、機能要件対応表の配点も同点である場合は、くじにより落札者を決定するものとする。（くじの日時及び場所については、別途指定する。）

（２）結果及び評価の公表

入札結果は本市のホームページにおいて公表する。

（３）落札者を決定しない場合の措置

入札参加者の募集、評価及び落札者の決定において、最終的に入札参加者がいない場合に

は、落札者を決定せず、その旨を市のホームページ等で速やかに公表する。

なお、入札参加者が1者であった場合も入札参加資格審査及び提案内容審査を実施し、事業者として適切と判定された場合において、当該提案を最優秀提案と選定する。ただし、入札参加資格審査、入札価格の適格審査又は必須項目審査のいずれかの審査において失格となった場合は、本入札は成立しないものとする。